

令和5年度宗像市環境保全審議会（第1回）

＜議事要旨＞

■日時、場所

○日時：令和6年3月21日（木）14:00～15:00

○場所：市役所304会議室

■出席者

○審議会委員

委員出欠表（■出席 □欠席）		
■安藤委員	■柴田委員)	■清水委員
■堤委員	■中石委員	■中村委員
■東委員	■松尾委員	■松本委員

○事務局：環境部山倉部長

脱炭素社会推進課前田課長、愛月、寺田

環境課廣渡課長、三好主幹、山口主幹

1. 開会

- ・愛月より開会および資料の確認

2. 環境部長挨拶

- ・山倉部長より挨拶

3. 委嘱状交付

- ・市長公務のため、机上に配布

4. 会長及び副会長選出

- ・事務局より会長に松本委員、副会長に中石委員を推薦し承諾得られる。
- ・松本会長、中石副会長よりそれぞれ挨拶

5. 出席者紹介

- ・各委員挨拶
- ・事務局挨拶

6. 審議事項（これより進行は会長）

- (1) 審議会の運営について
 - ・主に公開方法（事前のHPによる周知、会議の傍聴可）について説明（事務局）
- (2) 宗像市環境基本計画（中間見直し）について
 - ・第2次宗像市環境基本計画（中間見直し）概要版を用いて説明（事務局）

- ・5分野（自然環境、生活環境、都市環境、地球温暖化、教育・協働）の取組については各委員が関連する部分に触れながら説明。（事務局）

■以下、質疑応答

堤委員：飼い主のいないペット、地域猫の取組について状況は？

→県の補助やクラウドファンディングを活用しながら地域猫の去勢手術をR5年度は200匹以上実施した。R6年度も同様の規模感で進めていきたい（市：三好）

東職員：地域課題の解決策としての脱炭素化とは、具体的には？

→まずは防災力の向上を想定している。その他には農業・漁業振興にも活用できないか、脱炭素の視点が導入出来ないか検討していく（市：前田）

清水職員：OECD認証制度を目指すとあるが、どういった分野で検討しているのか？

→今年度、環境省の支援により藻場の保全について検討を進めている。宗像市の海で行われている様々な取組が認証を得られることで生物の保全に繋がることが出来ないか、R6年も検討していきたいと考えている。※R6の環境省支援については採択結果待ち（市：寺田）

（3）年次進捗評価方法・スケジュールについて

- ・資料5をもとに説明（事務局）

■以下、質疑応答

堤委員：評価手順のスケジュールについて確認

→年度終了後、4月に各課において自己評価を実施し、その後事務局において集計、整理したものを審議会に諮る想定。そこで得られた意見等は各課にフィードバックし反映出来るものは速やかに反映、もしくは次年度以降の改善に活用する。（市：愛月）

堤委員：環境基本計画中間見直し（本編19頁）の温室効果ガスの目標値が低すぎるのは誤りか？

→前回計画策定時の目標値は2027年度に2013年度比22%削減であったため、現目標値からは低い数字となっている。ご認識のとおり、現計画の目標値は2027年度は42%削減、2030年度は46%削減としている。（市：寺田）

○○委員：

→環境教育の回数？コロナの影響？

堤委員：個別施策の評価は平均点が1.5点以上2.5点未満が概ね順調としているが、2.0以上が正しいのではないか？

→修正します。（市：愛月）

（4）その他

- ・次回の開催時期について連絡。

7. 閉会

以上